

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行

# 会社説明会

2022年3月5日(土)



株式  
会社

鳥羽洋行

- ◆ 積極的な株主還元  
配当方針、株主優待制度
- ◆ 生産設備の専門商社
- ◆ 独自の営業体制
- ◆ 創業 1 1 5 周年

# 積極的な株主還元（株価・配当情報）

## 3/4（金）の株価・配当金予想

終値（3/4）

**2,877円**

今期の配当金予想

※2022年3月2日増配を発表

**120円**

予想配当利回り

**4.17%**

# 積極的な株主還元（株価・配当情報）

## 3/4（金）の株価・PBR・PER

終値（3/4）

**2,877円**

P B R

※2021年3月 期純資産額より算出

**0.64倍**

P E R

※2022年 3月期 業績予想より算出

**8.88倍**

# 株主様への還元（株主優待）

- 株主優待は、「QUOカード」を採用しています。
- 2022年3月2日に株主優待制度拡充を  
発表しております。（赤枠部分を追加）



対象株主	継続保有 3年未満	継続保有 3年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

＜QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

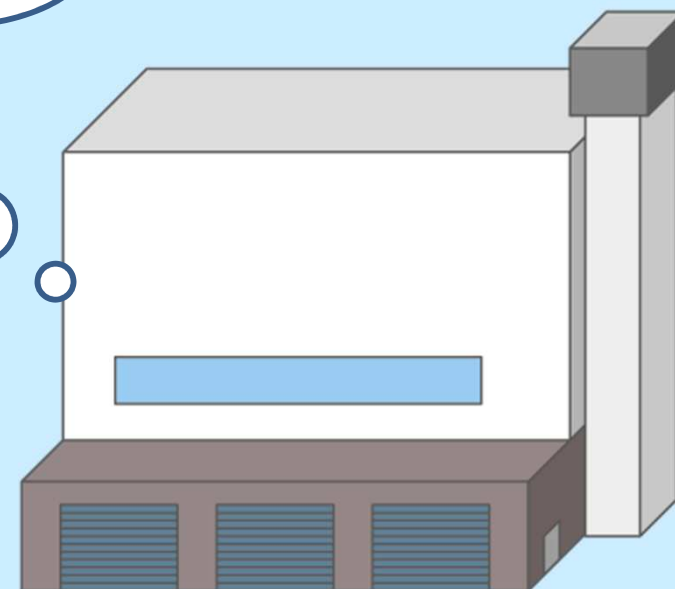
株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

# 生産設備の専門商社

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



鳥羽洋行は、生産設備に関する  
商材を取り扱う専門商社です。



# 機械工具専門商社の分類例

## 1. 販売形態による分類

①直販型

②卸売型

③通信販売型

## 2. 取扱い商品による分類

①組立

②工作機械関連

③電気部品・部材

④その他

## 3. 販売地域による分類

①広域展開

②地域限定

機械工具専門商社と表現されますが、企業ごとに特徴に差があります。

# 鳥羽洋行独自の営業体制

## 1. 販売体制

- ・ メーカー様より直接仕入、ユーザー様へ直接販売

## 2. 卓越した専門スキル

- ・ 各種専門資格の取得 ⇒ メーカー代行営業

## 3. 国内外に広がる販売ネットワーク

- ・ 国内22拠点、海外3カ国 5 拠点

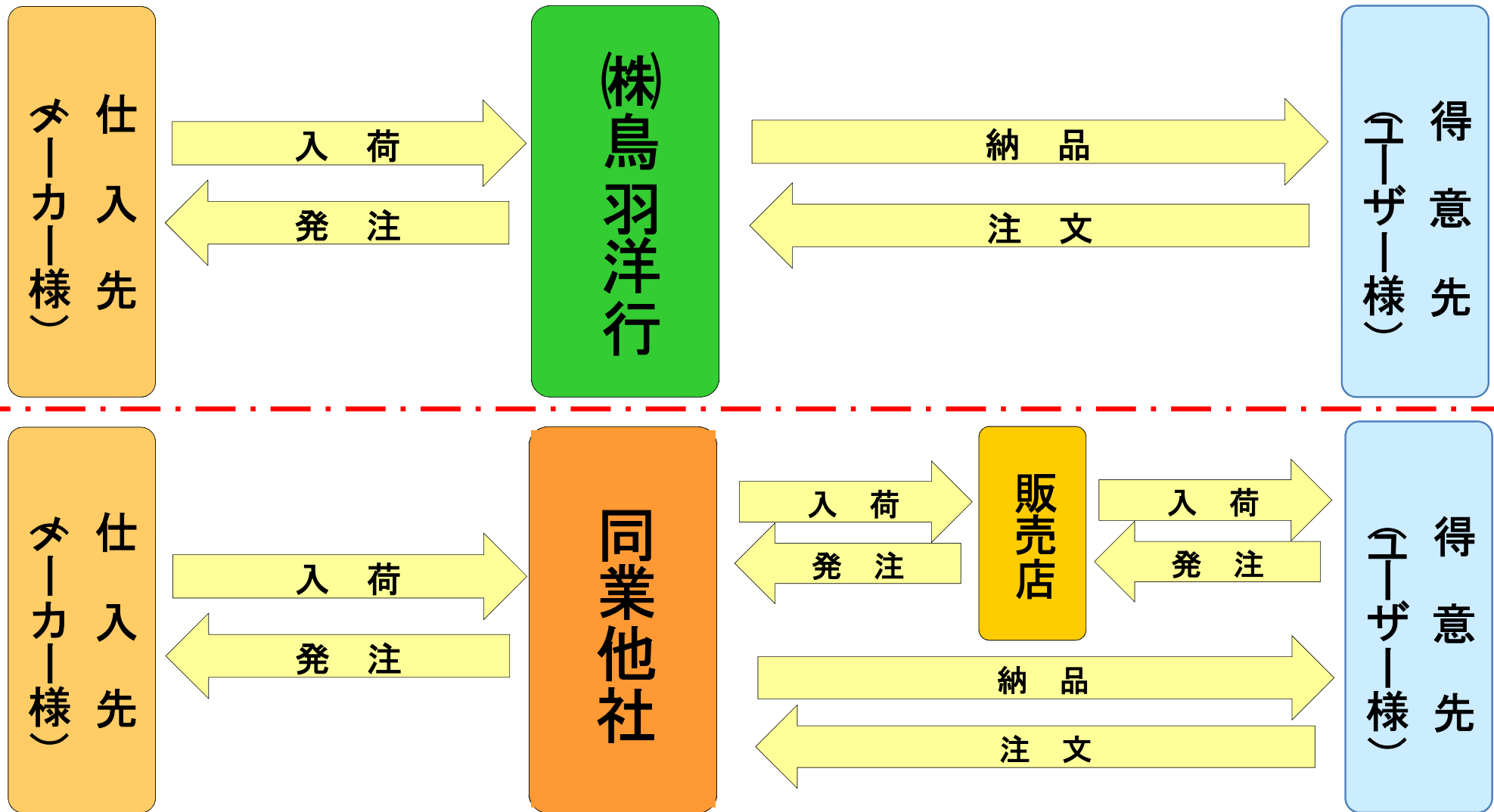
## 4. 強固な顧客基盤

- ・ 幅広い業種の代表的な企業と取引











# 1. 販売体制 (ビジネススタイル)

- ・ ユーザー様は当社に依頼することで生産コストの低減と高品質化を実現
- ・ 『直接仕入』 ⇒ 仕入先様から直接製品を購入
- ・ 『直接販売』 ⇒ 得意先様に直接訪問し販売



# 1. 販売体制 (取扱い商品例)

制御機器	 <p>エアシリンダ</p>	 <p>バルブ</p>	 <p>センサー</p>
FA機器	 <p>産業用ロボット</p>	 <p>マウンター</p>	 <p>レーザー加工機</p>
産業機器	 <p>電動ドライバー</p>	 <p>ベルトコンベア</p>	 <p>電気チェーンブロック</p>

# 1. 販売体制（ご参考：注目商品）

## < 近年注目されている商品分野 『 協働ロボット 』 >

協働ロボットとは、

本体に安全センサーを組み込むなど、人に対する安全性を確保できるようになったロボットです。特別な安全対策を講じる必要が少なく、作業者のすぐ近くでも導入できるようになりました。



ユニバーサルロボット  
UReシリーズ



(株)デンソーウェーブ  
COBOTTA

# (ご参考) 主要仕入先 (五十音順)

## <制御機器>

- S M C 株式会社
- パナソニックインダストリアルマーケティング & セールス株式会社

## < F A 機器 >

- 株式会社アイエイアイ
- 株式会社アマダウエルドテック
- 株式会社ジャパンユニックス
- T H K 株式会社
- 株式会社デンソーウェーブ
- 日東精工株式会社
- 武蔵エンジニアリング株式会社
- ヤマハ発動機株式会社

## <産業機器>

- 株式会社エステック
- 三機工業株式会社
- 日本インテグリス合同会社

## (ご参考) 2. 卓越した専門スキル

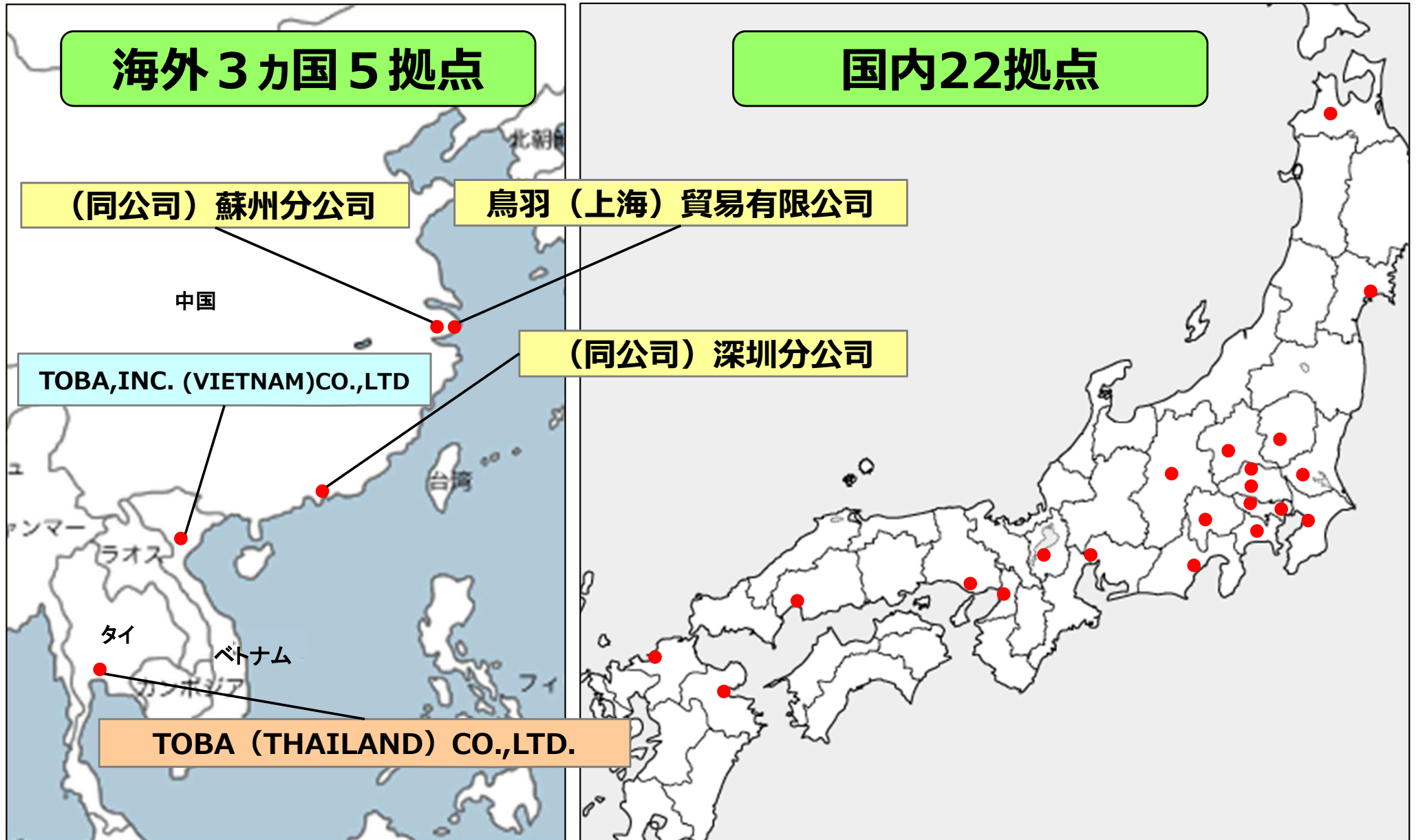
所持している資格等 (重複所持含む)

(2021年9月30日現在)

■ 空気圧装置組立技能士 1級	79名
■ 空気圧装置組立技能士 2級	47名
▲ SMC SE認定	48名
▲ SMC販売スキル研修修了者	9名
▲ IAI SE	54名
▲ デンソーロボット SE認定	42名
▲ パナソニック IPD SE認定	1名
■ 2級建築施行管理技術	1名

など

# 3. 国内外に広がる販売ネットワーク



# 会社概要

- 社 名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本 社：東京都文京区水道二丁目8番6号
- 創 業：1906年（明治39年）
- 設 立：1949年（昭和24年）
- 資本金：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】256人・【単体】229人
- 販売拠点：国内22拠点・海外3カ国5拠点
- 上場市場：東京証券取引所JASDAQスタンダード
- 証券コード：7472

※従業員数は、2021年12月31日現在です。

## ➤ 新市場区分「スタンダード市場」選択申請

東京証券取引所における市場区分の見直しに伴い、  
2022年4月4日に移行が予定される新市場区分に関し、  
当社は「**スタンダード市場**」となる見込みです。



# 鳥羽洋行の沿革



創業者である鳥羽真作は、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業

昭和30年～40年代  
空気圧機器中心に販売展開  
“空圧のTOBA”



1906年9月 創業  
中国（大連市）



(旧銀座本社及び二代目社長:鳥羽実)

1949年12月 設立  
中央区（銀座）

1995年11月  
JASDAQに上場

2008年12月  
鳥羽(上海) 貿易有限公司設立

2012年5月  
TOBA (THAILAND) CO.,LTD.設立

2014年7月  
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立

2020年6月  
TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD設立

2022年4月  
東証市場再編によりスタンダード市場へ

昭和40年代以降は、省力化・自動化機器  
(FA機器)を中心に販売展開  
“FA プランナー TOBA”



創業より110年以上、国内外のモノづくりに貢献してまいりました。



(現在の鳥羽洋行本社)

## 企業理念

# 信用第一主義

## 社是

- 1 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
- 4 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

# 当社をとりまく市場環境

## ◆ 国内の市場環境

コロナワクチン普及率の増加等により持ち直しつつあった個人消費は、変異株の流行によって再び落ち込みが予想され先行きは不透明であるものの、製造業の設備投資は堅調に推移しており、好調を維持していくものと予想しております。

### ◆ 半導体及び半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界

世界的な半導体不足、D Xや5 Gの普及等により半導体需要の高まりは継続しており、今後も好調を維持していくものと予想しております。

### ◆ 自動車・車載部品業界

半導体需給のひっ迫や、コロナの影響による東南アジアを中心としたサプライチェーンの混乱等から自動車の減産を強いられておりますが、生産台数の正常化や設備投資は、徐々に回復していくものと予想しております。

### ◆ 自動化機器・装置業界

電気自動車（EV）や半導体等、あらゆる産業において自動化機器・装置の需要が増加。人手不足による生産性向上のため、設備投資意欲は引き続き増加するものと予想しております。

# 当社をとりまく市場環境

## ◆ 海外の市場環境

### ◆ 米国経済

コロナ変異株の感染拡大やFRBのインフレ対応による金利引き上げ懸念等により、米国経済の回復は一時的に減速したものの、足元の設備投資は堅調であり、経済の回復基調は継続していくものと予想しております。

### ◆ 欧州経済

コロナ変異株の感染拡大により、新規感染者数の過去最高記録を更新する状況が続いているものの、欧州各国は経済活動に配慮した対応に注力しており、消費者マインドの低下等の影響は限定的と考えております。今後も経済正常化への動きは継続していくものと予想しております。

### ◆ 中国経済

ゼロコロナ政策による厳格な行動制限や恒大問題等の不安材料から、回復基調であった景気は一時減速したものの、ハイテク製造業界は好調を続けており、同製造業界への設備投資は堅調に推移していくものと予想しております。

### ◆ その他

報道されております「ウクライナ情勢」につきましては、大きな不安材料です。

# 今期の戦略について

## <今期の戦略>

### ◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5G 関連潜在需要の取り込み  
半導体、電子部品、CASE、スマートフォン、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の販売を積極的に展開

### ◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

### ◆半導体向けろ過フィルターやEビジネスでの売上拡大

- ▶ 専任担当者の増員等を検討し拡販

### ◆新商材の発掘

- ▶ 新型 A G V、新規協働ロボット等

### ◆海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ ベトナム現地法人の早期黒字化支援
- ▶ 新規進出拠点検討

# 2022年3月期第3四半期決算①

## < 2022年3月期第3四半期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	
	3 Q	3 Q	
	実績	実績	前年同期比
売上高	17,880	21,905	22.5%
営業利益	864	1,516	75.4%
経常利益	956	1,585	65.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	659	1,119	69.7%

# 2022年3月期第3四半期決算②

## <2022年3月期第3四半期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	21/3月末	構成比 (%)	21/12月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,786	76.3	22,598	77.0	
現金・預金	10,173	37.4	10,460	35.6	
受取手形・売掛金 ※1	10,163	37.3	11,583	39.4	
商品	368	1.4	490	1.6	
固定資産	6,443	23.7	6,733	22.9	
資産合計	27,230	100.0	29,331	100.0	
流動負債	8,397	30.8	9,578	32.6	
支払手形・買掛金 ※2	7,596	27.9	8,522	29.0	
固定負債	471	1.7	561	1.9	
負債合計	8,869	32.6	10,139	34.5	
純資産合計	18,361	67.4	19,191	65.4	
負債純資産合計	27,230	100.0	29,331	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む

# 2022年3月期の業績予想（連結）

## <2022年3月期の業績予想>

（単位：百万円）

	21/3月期 （実績）	22/3月期 （予想）	前期比 （増減率）
売上高	25,040	29,400	17.4%
営業利益	1,272	1,895	49.0%
営業利益率	5.1%	6.4%	+1.3 P
経常利益	1,384	1,981	43.1%
経常利益率	5.5%	6.7%	+1.2 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	949	1,398	47.3%
当期純利益率	3.8%	4.8%	+1.0 P

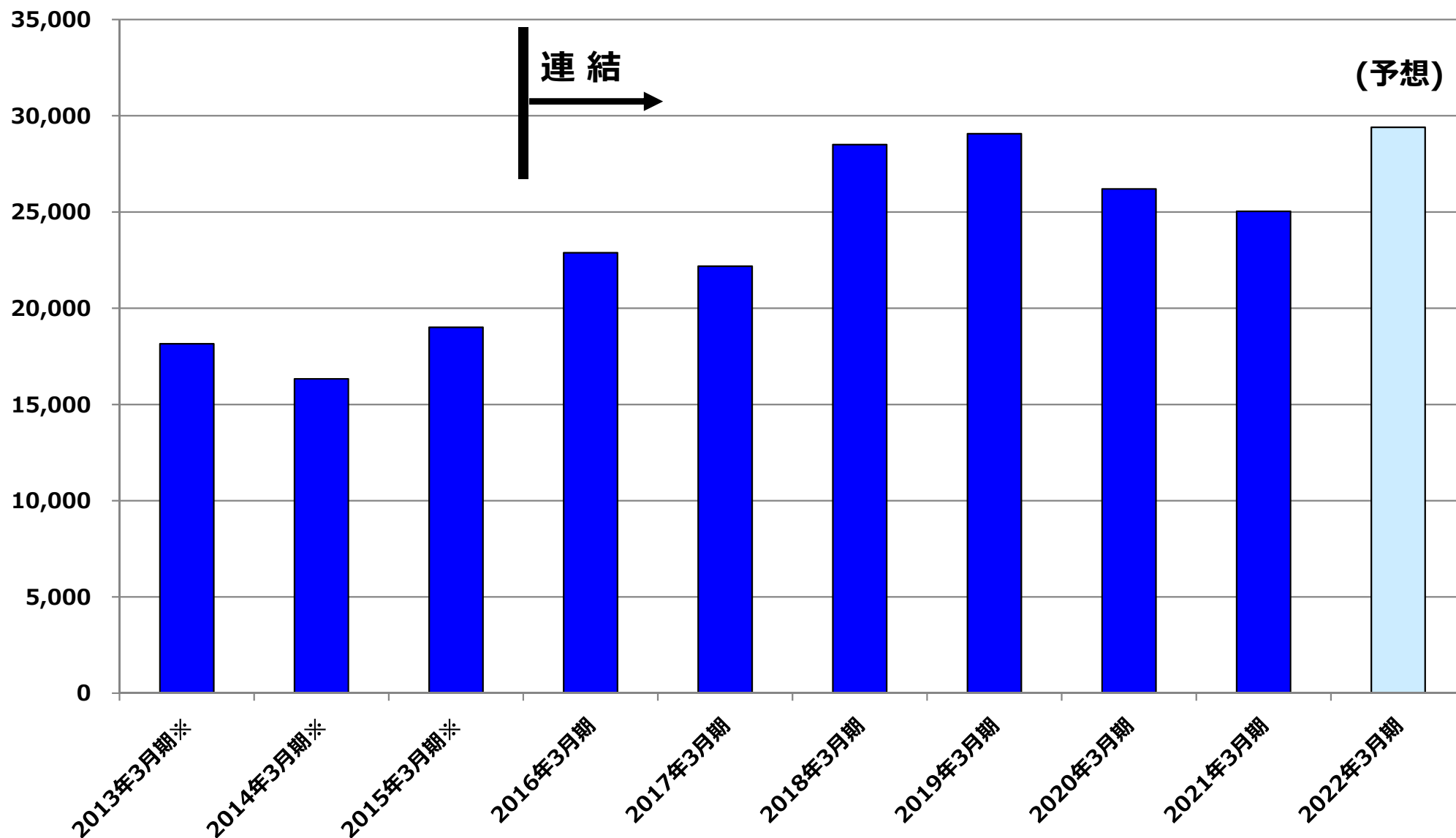
※2022年3月2日に業績予想の修正を発表しました。



# 売上高推移グラフ

(百万円)

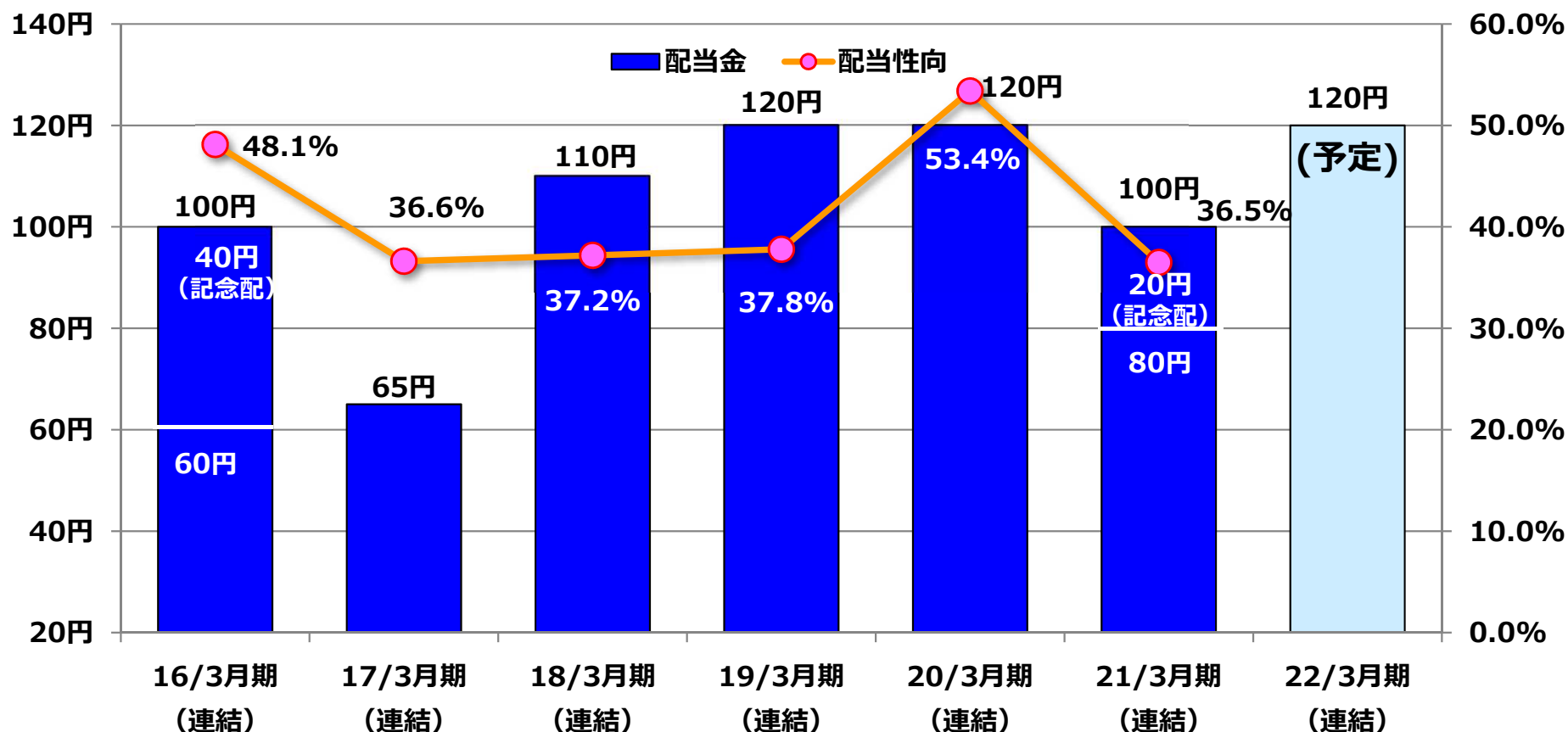
## 売上高推移



※2016年3月期から連結財務諸表を作成しているため、2015年3月期以前は単体の数値です。

# 株主様への還元（配当金）

## 1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※2022年3月4日に、配当予想の修正（増配）を発表しました。

※16/3月期及び21/3月期については、それぞれ創業周年記念の記念配当金40円及び20円が含まれております。

### ■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円**下限
- 連結配当性向 **35%**以上

# 株主様への還元（株主優待）

- 株主優待は、「QUOカード」を採用しています。
- 2022年3月2日に株主優待制度拡充を  
発表しております。（赤枠部分を追加）



対象株主	継続保有 3年未満	継続保有 3年以上
100株以上500株未満	1,000円	2,000円
500株以上1,000株未満	2,000円	4,000円
1,000株以上	3,000円	6,000円

<QUOカード購入代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。>

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

この資料には、2022年3月4日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

### [問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道2丁目8番6号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp